

2019/9/20

市町村職員を対象とするセミナー

ひきこもり支援センター ほっとプラザ



令和元年9月20日（金）

東海市社会福祉協議会
ほっとプラザ

ほっとプラザの所在地 東海市

- ・ 知多半島の西北部に位置し、名古屋市の中心地区まで約15km（電車で20分）
- ・ 電車で20分圏内に中部国際空港（セントレア）
- ・ 中部圏最大の鉄鋼基地をもち、産業上の拠点都市としての役割
- ・ 人口 約11万5千人
- ・ 東海市制50周年
- ・ 鉄と洋ランの街



ほっとプラザ

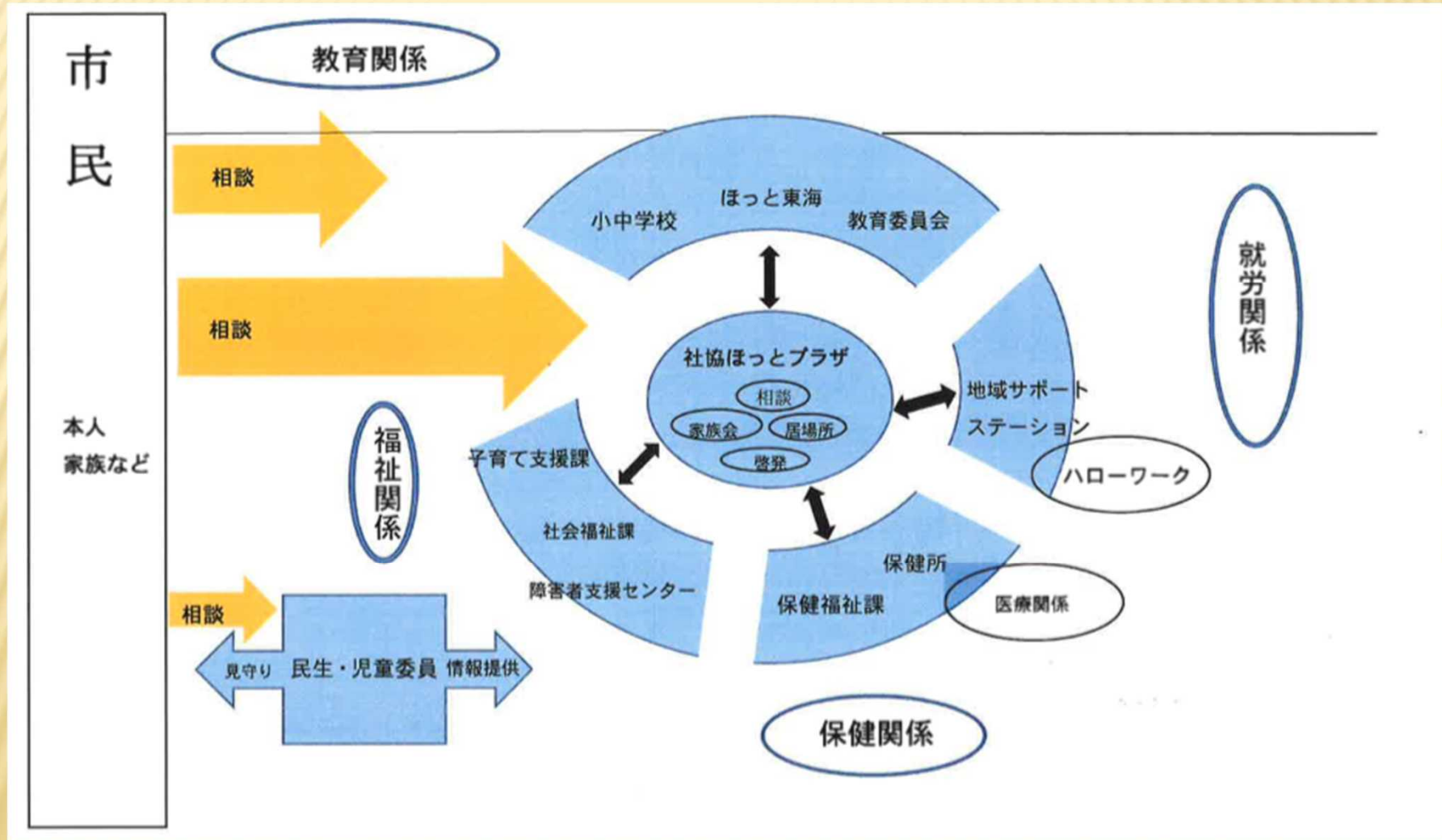
ほっとプラザの概要

- ・ 私鉄(名古屋鉄道)の常滑線 尾張横須賀駅西に隣接
- ・ まなぶん横須賀の2階(1階は図書館
2階には適応指導教室 ほっと東海)
- ・ 東海市社会福祉協議会の運営
- ・ 平成21年開所で11年目を迎える
- ・ 職員5名
- ・ 開所日
火曜日から土曜日までの週5日
(日・月曜日、祝日は閉所)
- ・ 開所時間
午前9時30分～午後6時15分
- ・ 相談事業と居場所事業等を実施



ほっとプラザ

東海市ひきこもり支援ネットワーク図



ほっとプラザとは

不登校やひきこもりなど、人付き合いで悩んでいる方が、家族以外の方とゆったり過ごしたり、スタッフに相談したりする「居場所」です。

利用の流れ

相談

ご家族やご本人とお話します。

居場所

プログラム活動や運動、ゲームなど人とのコミュニケーションを通じて、次のステップを一緒に考えていきます。

目標に向けて

進学、就職など、個別の目標に向けての支援をしていきます。

ほっとプラザ

ほっとプラザで行っていること

相 談

- ・ 面接・電話・訪問により、当事者・ご家族からの相談を受ける。
 - ・ すぐに具体的な解決策を示せるものではないが、困っていることを共有し、一緒に考える。
 - ・ 継続的な相談を心掛ける。
-
- ・ 臨床心理士によるカウンセリング
 毎月第1・4土曜日 10:00~12:00
 第3土曜日 14:30~16:30

ほっとプラザ

初回相談

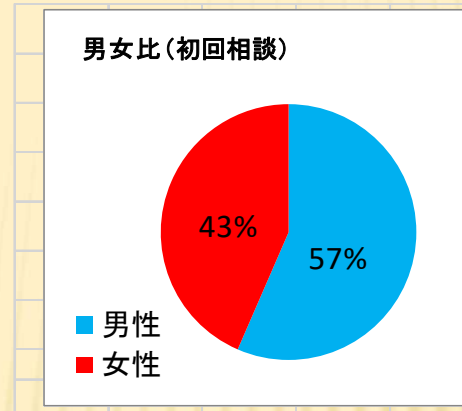
相談件数

	初回相談	再相談	合計
4月	1	30	31
5月	0	35	35
6月	1	36	37
7月	0	38	38
8月	1	33	34
9月	0	28	28
10月	0	28	28
11月	0	34	34
12月	1	30	31
1月	0	34	34
2月	15	30	45
3月	4	40	44
合計	23	396	419
29年度	43	554	597
28年度	29	730	759
27年度	25	923	948
26年度	44	607	651
25年度	32	256	288
24年度	21	148	169
23年度	23	224	247
22年度	30	256	286
21年度	85	172	257
累計	0	4266	4621

初回当事者

男女比

男性	女性
13	10
57%	43%



初回相談者

本人	両親	父親	母親	同居親族	別居親族	本人+両親	本人+父親	本人+母親	その他
17	0	0	2	0	0	0	0	3	1
73.9%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	4.3%

年齢

小学生	中学生	16~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40歳台	その他
1	9	5	2	2	0	0	2	2
4.3%	39.1%	21.7%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	8.7%	8.7%

不登校経験

あり	なし	不明
16	5	2
69.6%	21.7%	8.7%

就労経験

あり	なし	不明
6	16	1
26.1%	69.6%	4.3%

ほっとプラザで行っていること

居場所

- ・ 来所者が安心して思い思いに過ごせる場所としての
フリースペース
- ・ 部屋から社会に出る前の一つ手前の場所
- ・ 「ほっと」と一息ついたり、各々の課題に向けて頑
張ったり、雑談したりして
過ごせる場所
- ・ 2か月に1度、第4土曜日
ほっとプラザの見学会（カフェ）を実施



ほっとプラザ

居場所登録

新規登録者

・男女比

男性	女性
8	8
50%	50%

小学生		中学生		16～19歳		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40歳台		50歳以上	
0		8		3		1		1		0		0		2		1	
0.0%		50.0%		18.8%		6.3%		6.3%		0.0%		0.0%		12.5%		6.3%	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	0	4	4	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0

	男性	女性
30年度	8	8
	50.0%	50.0%
29年度	8	14
	36.4%	63.6%
28年度	7	8
	46.7%	53.3%
27年度	8	10
	44.4%	55.6%
26年度	10	14
	41.7%	58.3%
25年度	14	10
	58.3%	41.7%
24年度	5	3
	62.5%	37.5%
23年度	8	5
	61.5%	38.5%
22年度	13	7
	65.0%	35.0%
21年度	20	18
	52.6%	47.4%

登録者数

・男女比

男性	女性
102	103
49.8%	50.2%

・登録者年齢

小学生		中学生		16～19歳		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40歳台		50歳以上	
5		22		54		30		40		26		12		11		5	
2.4%		10.7%		26.3%		14.6%		19.5%		12.7%		5.9%		5.4%		2.4%	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
2	3	8	14	18	36	16	14	23	17	16	10	8	4	8	3	3	2

ほっとプラザが行っていること

プログラム活動

毎月、書道や運動、料理教室(食事会)などの様々なプログラムを行っている。

火曜日 書道

第3水曜日 運動

木曜日 ダンス教室

第1・4木曜日 地域でのボランティア活動

第3土曜日 料理教室

曜日未定 絵画教室



ほっとプラザ

ほっとプラザが行っていること

ものづくり・行事

利用者同士が交流を図れるように、ほっとプラザが行事等を企画して参加者を募る。

平成30度開催

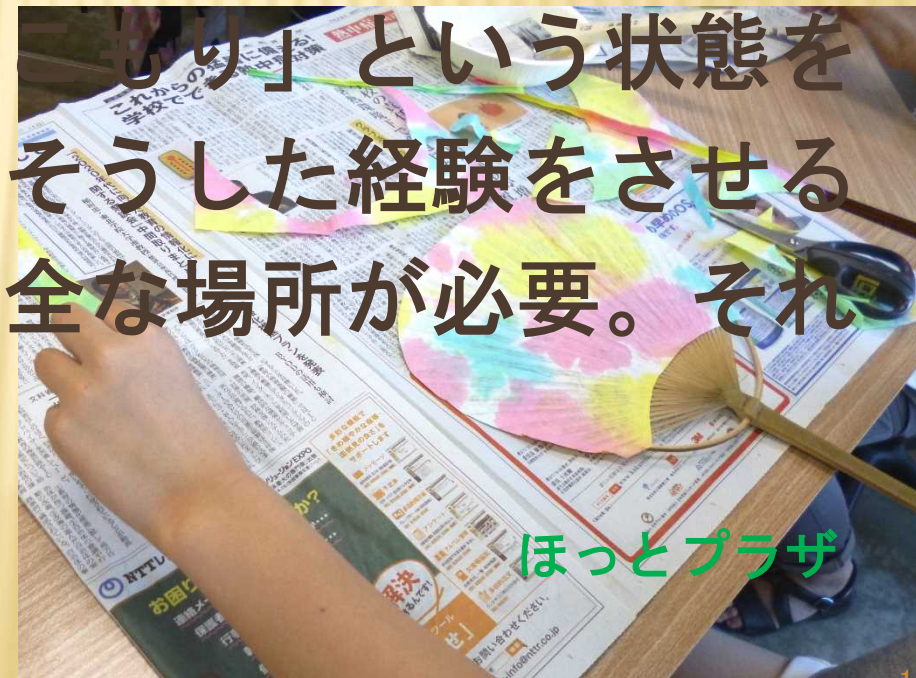
- 5/ マーベル展&プラネタリウム カレーライスづくり
- 6/ ハーバリウムづくり 7/ 木のロボットづくり
- 8/ 社会見学（コカコーラボトラーズ・ジャパン東海工場）
- 9/ リアル謎解きゲーム（名鉄太田川駅前）
- 11/ お茶会 毛糸モップづくり お菓子作り
- 12/ 干支作り 1/ 鏡開き アロマワックスバーづくり
- 2/ 布アートづくり バウンドケーキづくり
- 3/ カラオケ大会



ほっとプラザ

居場所で大事にしているところ

- ・ 一人一人が自分のペースで自分自身を大切にできる場。
- ・ ゆっくりと人とつながることができる。
- ・ 機が熟すまで「ひきこもり」という状態を豊かに経験させる。そうした経験をさせるためには、安心で安全な場所が必要。それが「居場所」。



居場所の役割

- 利用者同士に交流を促す。プログラムで出会った人に興味関心、コミュニケーションに重きを置く。
- 通信制の高校生に学習支援を行う。居場所では学習に自信のある利用者が教える。
- 居場所利用者同士、働いている人が実践での楽しいこと、困ったこと等を話し興味関心をもつ。
- サポーターである企業に勤める人が働くことの相談にのる。



ほっとプラザで行っていること

家族会

毎月第3土曜日にひきこもり当事者やその家族が悩みを共有し、家族関係のあり方等について意見交換を通して交流を図る。

また、専門家を招いての講義やアドバイスをいただいている。

令和元年度開催予定

- ・ 5/18 ○○教授による家族交流会
- ・ 7/20 ○○氏による学習会
- ・ 10/13 家族日帰り交流会
- ・ 1/18 ○○氏による学習会
- ・ 3/21 ○○教授による家族交流会
- ・ 6/15 ○○氏による個別相談会
- ・ 9/21 ○○教授による講演会
- ・ 11/16 ○○氏による学習会
- ・ 2/15 ○○教授による家族交流会

ほっとプラザ

ほっとプラザが行っていること

家族日帰り交流会

普段、外出の機会が少ない当事者やその家族で、日帰りの範囲内で旅行をし、交流を図っている。

令和元年 掛川花鳥園
平成30年 安城産業公園 デンパーク
平成29年 牧歌の里
平成28年 明治村
平成27年 犬山城・城下町散策



ひきこもり支援連携委員会

委員長

(学識有識者) 名古屋学芸大学教授

関係機関

民生委員・児童委員の代表

(関係団体の代表)

名古屋オレンジの会の代表

ちた地域若者サポートステーションの代表

(関係行政機関)

知多保健所の代表

東海市教育委員会の代表

東海市役所の代表



ほっとプラザ

10年間の事業の成果

- 義務教育のつながりにより、中学校卒業後、困難を抱えた人が、安心して相談できる環境をつくっている。
- 高校中退の相談に対して、新たな進学先を見つけ、また高校に通える支援。
- 発達障害を抱える利用者理解のための研修。
- 安心した居場所の提供。
- 精神疾患、障害を抱えた人も利用を受け入れる。そのため、カウンセラーを採用。

ほっとプラザ

政策効果

- 不登校の生徒をひきこもりにしない早期相談・支援を中心とした事業が中心として努めてきた。
- 発達障害を抱える若者に対して自己肯定感をもてる支援を行っている。
- 8050など社会に出られない人がおよそ1,000人を超えると予想される。
問題を抱える家族の相談を社会福祉課自立支援担当の相談員と共に定期的に訪問。
当事者が社会とつながるように支援をしている。



課題等

- ・ 当施設は隣接した知多市に近い。利用者として知多市の若者を受け入れている。また、その逆に、知多市の就労体験事業に東海市民の希望者に使えるように協同支援を行っている。引きこもっていた人が働ける企業を東海市も開拓して、就労体験可能な企業を得たい。
- ・ 来所による相談だけでなく、手紙やメール、訪問などアウトリーチできる手法を模索している。また、長期高年齢のケースに関しては、いくつかの関係機関と協議しながら対応することにつながりを維持している。
- ・ 若者の総合相談的な役割を担っている部分もあると感じる。ひきこもりには至らないが、発達障害等により潜在的に生きづらさを感じている若者を、早期に発見し対応していくことが求められる。

ほっとプラザ

市町村職員を対象とするセミナー



ご清聴ありがとうございました

ほっとプラザ